

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
看護研究	4年次 後期	必修	講義	1単位（30時間）	坂本 優子 ※
授 業 概 要					
<p>看護職は、看護の現場で起きている事象を探求し解決の方策を導いていく専門職業人である。ここでは、研究の意義、方法、倫理など、研究を実施するための基礎的知識を学ぶ。また、学んだ知識を活用し、これまでの講義や実習を通して感じている疑問を研究疑問として精錬し、文献検討を行い、考えをまとめる。その過程を通して、広い視野で看護を考え、研究する態度を養い、知的探求の楽しさを知る。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究の意義、方法、倫理など、研究を実施するための基礎的知識について説明する。</li> <li>2. 研究疑問を解明するための文献検討・グループ討議を通じて、主体的に疑問を探求する態度を実践する。</li> <li>3. 日頃感じている看護実践に関する疑問から研究疑問を精選し、文献検討を行い、考えを述べる。</li> <li>4. 看護における研究の意義について述べる。</li> </ol>					
実務経験のある教員					
坂本 優子：臨床での経験を踏まえ、研究の意義、研究の方法、研究倫理など、研究を実施するための基礎的知識について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護における研究の意義</li> <li>2. 研究の進め方 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 研究疑問の明確化 看護実践に関する疑問の明確化</li> <li>2) 文献検索・文献検討</li> <li>3) 研究デザインと分析方法の選択</li> </ol> </li> <li>3. 研究における倫理原則</li> <li>4. 研究計画書の書き方、研究計画書の作成</li> <li>5. 論文の書き方 文献検討の知見から考えをまとめる</li> <li>6. 研究成果の発表の仕方と意義</li> </ol>				坂本 優子 ※
学 習 方 法					
講義、課題学習、グループワーク					
評 価 方 法					
科目修了試験 課題レポート					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 系統看護学講座 別巻 看護研究 坂下 玲子 著 医学書院					